

県北冬どり向きブロッコリー品種グリーンフェイスと播種期

1. 試験のねらい

最近のブロッコリーは、耐寒性が強く低温期でもアントシアンの発生しにくい品種が育成されている。これらの品種を導入することにより県北でも作期の拡大が期待できる。そこで、県北に適する冬どりの品種と播種期を検討した。

2. 試験方法

(1) 品種比較

平成6年度及び7年度に緑嶺他20品種を供試して検討した。播種は7月下旬、定植は8月中旬に行った。収穫調査は11月以降3月まで順次行った。

花蕾色、アントシアンの発現、小花蕾の大きさ及び揃いなどの品質をもとに冬どり（11月以降収穫）に適する品種を選定した。

(2) 播種時期

播種は平成6年7月25日、8月5日及び8月15日に行った。供試品種はグリーンフェイスを用いた。

3. 試験結果及び考察

(1) 品種比較

県北に適する冬どりの有望品種はグリーンフェイスであった。

この品種は、11月以降収穫の作型において収量性が高く、低温期でもアントシアンの発生が少ない。小花蕾は小さく揃い、しまりも良好である（表-1、2）。

(2) 播種時期

収穫期は、7月25日播種が11月中旬、8月5日播種が12月中旬からとなり、8月15日播種では生育不良により収穫不能であった。花蕾重は7月25日播種で最も重くなった。花蕾品質については、しまりが良くアントシアンの発生が少ない7月25日播種が最も優れた（表-3）。

4. 成果の要約

県北の冬どりに適する品種と播種期を検討した。この結果、品種はグリーンフェイスを用い、播種を7月下旬に行うことで11月以降の収穫をねらいとした作型に適応できると思われた。

(担当者 黒磯分場 村上文生*) *現農業大学校

表-1 生育、収量及び耐寒性

品 種 名	出 蕾 始 月/日	収 穫 月/日	花 蕾 重 (g)	収 穫 適 期 月/旬	耐 寒 性
緑 嶺	10/22	11/14	450	11/上~下	弱
直緑28号	10/16	11/14	470	11/上~下	やや弱
グリーンフェイス	11/ 3	11/14	498	11/中~12/下	中
エンデバー	11/15	2/23	272	——	中
T-654	11/ 7	2/23	405	12/中~1/下	やや強
唐 嶺	10/24	11/14	603	11/中~12/下	中
グリーンベール	11/ 4	12/ 7	565	12/上~1/中	やや強
梅 緑 90	11/ 6	2/23	453	12/中~1/下	強
B N 55	11/ 8	2/23	469	12/中~1/下	強
B N 180	11/ 2	12/ 7	505	12/上~1/中	中
おおもり	11/ 4	12/ 7	373	12/上~1/中	中
マグナム	10/14	11/14	563	10/下~11/上	弱
はま緑90	10/16	11/14	604	11/上~下	やや弱

注1) 収穫は平成7年11月14日、12月7日及び平成8年2月23日に行い適期を判断した。
2) 耐寒性は平成8年2月下旬調査。

表-2 花蕾品質及び総合評価

品 種 名	緊 度	花 蕾 色	アントシアン	リーフイ	小 花 蕾		総 合 評 価
					大 小	揃 い	
緑 嶺	2.9	3.9	1.5	無	3.0	3.2	
直緑28号	3.9	3.9	0.2	微	2.1	3.0	
グリーンフェイス	5.0	3.5	0.7	無	2.4	3.9	◎
エンデバー	4.7	3.8	0.0	微	2.2	3.7	
T-654	2.5	3.4	0.3	少	2.0	3.2	
唐 嶺	5.0	4.2	1.2	微	2.0	4.3	○
グリーンベール	5.0	4.0	0.0	少	2.5	3.0	
梅 緑 90	3.4	3.1	0.0	無	2.8	3.2	○
B N 55	4.5	3.9	1.4	無	2.0	3.2	
B N 180	5.0	4.0	0.0	中	2.5	2.3	
おおもり	4.3	4.0	1.0	無	2.7	3.3	○
マグナム	3.2	4.3	1.0	無	3.5	3.4	
はま緑90	3.9	4.3	0.0	少	2.4	3.1	

注1) 緊度：1~3~5=軟~中~硬、花蕾色：1~3~5=淡緑~緑~濃緑、アントシアン：0~3~5=無~中~甚
2) 総合評価（11月以降の適応性）：◎=適、○=やや適

表-3 グリーンフェイスの播種期別生育及び花蕾品質

播種時期	収 穫 月/日	花 蕾 重 (g)	花 蕾 品 質			収 穫 適 期 月/旬	総 合 評 価
			緊 度	花 蕾 色	アントシアン		
7月25日	12/ 8	529	4.9	3.5	0.5	11/中~1/中	◎
8月 5日	2/27	438	3.8	3.9	3.5	12/中~2~上	○
8月15日	2/27	収穫不能					

注1) 収穫は平成6年11月10日、12月8日、平成7年2月9日及び27日に行い適期を判断した。
2) 緊度：1~3~5=軟~中~硬、花蕾色：1~3~5=淡緑~緑~濃緑、アントシアン：0~3~5=無~中~甚
3) 総合評価（11月以降の適応性）：◎=適、○=やや適